

		作成日	令和 8 年 8 月 2 8 日
リーディングプロジェクト	所沢の魅力を高めるまちづくり	ゼネラルマネージャー	産業経済部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	経営企画部長、市民部長、環境クリーン部長、産業経済部長、街づくり計画部長、教育総務部長		
幹事会メンバー	産業経済部次長、経営企画部次長、経営企画担当参事、文化財保護担当参事、企画総務課長、広報課長、地域づくり推進課長、文化芸術振興課長、みどり自然課長、産業振興課長、商業観光課長、農業振興課長、市街地整備課長、スポーツ振興課長		

【リーディングプロジェクトの方向性】

まちの活性化を進めていくためには、多岐にわたる本市の魅力を、にぎわい拠点や多くの人々が集うイベントなどを通じて、市民や国内はもとより海外にまで伝えられるよう、十分に活かしていく必要があります。 本市は「日本の航空発祥の地」として知られるほか、狭山湖や狭山丘陵に代表される都市近郊の豊かなみどり、歴史の中で育まれてきた重松流祭囃子などの伝統文化や秋田家住宅などの歴史的建造物、狭山茶・さといもなどの農産物、世界農業遺産にも認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」、焼だんごや手打ちうどんといった食文化など、生活に身近な魅力があります。 また、国内外から多くの人々が訪れる、所沢航空記念公園や西武ドーム球場とその周辺のボールパーク、世界的に著名な建築家がデザインを手掛けた「ところざわサクラタウン」、「音楽のあるまちづくり」による豊かな音楽文化や新たな交流の創出など、市民それぞれが愛着を持ち誇りに思える数多くの「所沢ブランド」もその魅力です。 こうした所沢の豊かなみどりと多彩な文化の魅力を市内外に伝えるため、インバウンドに対応した多言語表示や通信環境の整備、地元商店や地域における来訪者の受入に備えた取組の推進など、訪れて楽しい空間づくりや市内の魅力ある観光拠点、商店街などへの回遊性の質を高めるとともに、「所沢市民フェスティバル」や「ところざわまつり」「ところざわ新茶まつり」などをはじめとする様々な機会を通じて、「所沢ブランド」として発信していきます。 また、全国に向けて市の魅力を発信するため、ふるさと応援寄附を推進します。
--

【令和 7 年度に実施した事業】

≪「主な取り組み」にあたる事業≫

5-2-1 地域を牽引する事業者等への支援									
地域産業を牽引する事業者等支援事業								産業経済部産業振興課	
貢献度	B: やや貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	II: 継続
地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業								産業経済部産業振興課	
貢献度	A: 貢献している	必要性	A: 高まっている	効率性	B: 余地はある	進捗状況	A: 計画以上	方向性	II: 継続
ふるさと応援寄附推進事業								産業経済部産業振興課	
貢献度	A: 貢献している	必要性	A: 高まっている	効率性	B: 余地はある	進捗状況	A: 計画以上	方向性	II: 継続
5-3-1 にぎわい拠点の創出・活性化									
「所沢市観光情報・物産館」活用事業 (COOL JAPAN FOREST構想事業)								産業経済部商業観光課	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	A: 計画以上	方向性	II: 継続
にぎわいトコロ創出支援事業								産業経済部商業観光課	
貢献度	B: やや貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	A: 余地はない	進捗状況	B: 計画通り	方向性	II: 継続
観光案内作成事業								産業経済部商業観光課	
貢献度	B: やや貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	A: 余地はない	進捗状況	C: 計画通りでない	方向性	II: 継続

5-3-3 観光を軸としたブランド化の推進											
所沢ブランド特産品推進事業									産業経済部産業振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
ブランド価値の向上事業									産業経済部商業観光課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
2025年大阪・関西万博お茶が織りなす日本文化展事業									産業経済部農業振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅴ：事業終了		
5-3-4 農のあるまちづくりの推進											
地産地消推進事業									産業経済部農業振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅰ：事業規模拡大		
所沢農産物ブランド化推進事業									産業経済部農業振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅰ：事業規模拡大		
世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進事業									産業経済部農業振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
5-3-5 観光客誘致・受入体制の強化											
インバウンド戦略推進事業（COOLJAPANFOREST構想事業）									産業経済部商業観光課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続		
効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業									産業経済部商業観光課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続		
5-6-1 個性あふれる文化の創造											
音楽のあるまちづくり推進事業									市民部文化芸術振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅰ：事業規模拡大		
市民文化センター管理運営事業									市民部文化芸術振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
5-6-2 文化財の調査・保存・活用											
滝の城跡整備事業									教育総務部文化財保護課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続		
文化財公開活用事業									教育総務部文化財保護課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
歴史的建造物整備活用事業									教育総務部文化財保護課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		

「関連する取り組み」にあたる事業

4-2-1 生物多様性への理解と参加の推進										
生きものとみどり啓発事業									環境クリーン部みどり自然課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	
4-2-3 みどりと水の保全										
みどりの基本計画推進事業									環境クリーン部みどり自然課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	
里山保全地域等指定整備事業									環境クリーン部みどり自然課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
水田景観保全事業									環境クリーン部みどり自然課	
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

6-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進										
ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業								街づくり計画部市街地整備課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
日東地区まちづくり事業								街づくり計画部市街地整備課		
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	
所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1工区）								街づくり計画部市街地整備課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
7-4-3 地域の総合力の向上										
COOL JAPAN FOREST構想推進事業								経営企画部経営企画課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
ダイアプラン推進事業								経営企画部経営企画課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
所沢Mixカルチャーフェスタ開催事業								経営企画部経営企画課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

【評価及び今後の方針】

● 地域を牽引する事業者等への支援

・地域産業を牽引する事業者等支援事業については、対面訪問を実施し経営上の課題をヒアリングした。また、本市支援施策だけでなく、国や県の支援施策も紹介することで総合的な課題解決の一助となるよう努めた。今後も事業者へのヒアリングをもとに事業の充実を図っていく。

・地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業については、新商品やサービスの開発、販路拡大にかかる経費の一部を補助金として交付することで地域経済の活性化に寄与した。事業者は新たな設備の導入等により製品の生産性や品質を高めることができた。本事業は小規模事業者の生産性向上や地域産業の活性化を図る上で効果的であることに加え、新製品が開発されることで、新たなふるさと応援寄附の返礼品が生まれる可能性があることから、より一層の補助事業の周知や充実に向け取り組んでいく。

・ふるさと応援寄附推進事業については、寄附に係る返礼品の提供を行い、約1億8,600万円の寄附を集めた。今後も返礼品の拡充を図り、寄付額の増額を図っていく。

● にぎわい拠点の創出・活性化

・所沢市観光情報・物産館を指定管理者により管理運営し、所沢ブランド特産品や所沢産野菜等の販売、飲食スペースでの武蔵野うどん等の提供、季節に合わせたイベントの実施を通して、本市の魅力を発信し、にぎわいを創出した。来館者数は昨年度と比較して約1万人増加した。

今後は飲食メニューの見直しや、新規イベント・市外への出店等を実施し、地域住民だけでなく、新たな顧客を獲得できるよう努める。

・市内を歩きやすく、また、歩きたくなるようにするために、まちのにぎわいと美しく豊かなみどりを巡る「まち」×「みどり」のおさんぽコース10選のうち「荒幡富士おさんぽコース」の老朽化した道標10基を撤去し、そのうち6基を更新した。

・既存の観光ガイドブックの内容を元に、折り込みのリーフレット型の観光PRチラシを作成した。所沢市観光大使である辰巳雄大氏の協力の元、観光PRポスター4種類を作成した。

・人と人、物が巡りあうことのできる地域の特性を生かしたにぎわい拠点（にぎわいトコロ）の創出・活性化に向けた事業について、令和7年度は10件の補助を行った。今後も更なるにぎわい拠点の充実のため、にぎわいトコロ創出支援事業補助金のPR活動を行っていく。

● 観光を軸としたブランド化の推進

- ・所沢らしさを追求した魅力ある逸品「所沢ブランド特産品」の第8回認定審査会を実施し、4商品を新たに選定した。今後は販路支援に重点を置き、認知度向上のため積極的な情報発信を行っている。
- ・販路支援においては、所沢ブランド特産品の特設WEBサイトにて認定商品（46商品）及び開発者の紹介を行うとともに、広報ところざわやSNS（Instagram）を活用した商品紹介を行い、認知度向上に努めた。また、所沢市民フェスティバルに出展するなど、イベント参加による販路支援を行った。
- ・本市のブランド価値を高め、ふるさと所沢への愛着の醸成を図るため、所沢を本拠地とするプロスポーツチームである「埼玉西武ライオンズ」、「さいたまブロンコス」との連携を推進した。両チームをきっかけに本市を訪れる人も多く、観光資源としての役割を果たしている。令和7年度には、埼玉西武ライオンズとはフレンドリーシティ感謝デーへの出展をはじめ、小学生を対象としたベースボールチャレンジなど様々な事業を協働で実施している。また、さいたまブロンコスにおいては、ホームゲーム開催時にところんによる現地応援を実施し「所沢市×さいたまブロンコス」の連携をアピールしたほか、小中学生を対象とした無料招待などを実施した。
- ・2025大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展（Tea Journey～日本茶の文化と風味を楽しむ～）」では、1万人を超える来場者をはじめ世界に向けて狭山茶の魅力を発信した。この結果、茶生産者のモチベーションや生産意欲の向上につながったほか、出展を契機として狭山市や入間市との連携がさらに深まり、協働でのPRイベントの開催を実現した。今後は、連携体制を活かし、さらなるPR活動やイベントの展開で、茶生産地としての魅力をより一層高めていく。

● 農のあるまちづくりの推進

- ・例年実施している農業祭での農業者と連携した農産物PRに加え、西武学園医学技術専門学校と協働でレシピ開発および考案者の表彰を兼ねた親子参加型の料理教室を開催し、「思い出深い体験の提供と、将来にわたる農産物への興味醸成」という成果を得られた。
- ・地域内外へのアプローチとして、市内飲食店での「里芋」と「茶」を使った期間限定コラボメニューを提供して大変好評を博したほか、「上田城紅葉まつり」「茅ヶ崎フェスティバル」といった市外イベントへの出展を行った。また、所沢シティマラソン大会において、入賞者へ地場産野菜の詰め合わせを贈呈し、所沢ブランドのPRを図った。
- ・世界農業遺産である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の周知に向けては、恒例の落ち葉掃き体験イベントの実施や、同農法で生産された農産物の販売会を試行し、伝統農法の継続推進だけでなく、認知度向上や地域への来訪促進という可能性を得ることができた。
- ・今後も、地域ならではの特色ある農産物や文化をさらに生かし、魅力的なイベントやパッケージの作成・活用を進めると同時に、多様な広報ツールを駆使しながら、様々なステークホルダーを巻き込んだ普及啓発活動で、「地産地消の推進」と「ブランド化」の両面から、所沢産農産物のさらなる消費拡大を図る。
- ・地産地消の意識醸成にもつながる体験農場は、利用者の入れ替え時期に合わせ、かねてから要望の多かった利用期間を2年から3年へと延長し、一部の区画を細分化するレイアウト変更を実施した。この結果、利用期間が延びたことで栽培可能な作物の種類が拡大し、利用者がより多様な農業体験を楽しめるようになり、区画数の増加でより多くの方々へ利用の機会を提供することが可能となった。今後も、状況を細やかに把握し、さらに多くの方に利用していただけるよう努めていく。

● 観光客誘致・受入体制の強化

- ・インバウンド戦略推進事業では、埼玉県物産観光協会の「埼玉県インバウンド有力コンテンツ」事業を活用したFAMツアーの招聘や、市内事業者との事業連携・情報交換を目的とした「所沢市観光事業者意見交換会」を実施するなど、訪日外国人の受入体制整備を進めることができた。今後は、東京都庁の「全国観光PRコーナー」への出展やITF（台湾国際旅行博）への参加などを通じて外国人観光客の誘致を行うほか、地域観光魅力向上事業として、事業者コンテンツの発掘、ツアーの造成・販売、情報発信を委託し、受入体制のさらなる整備を進める。
- ・所沢市観光大使の協力の元、多数事業を実施し効果的な観光客誘致プロモーションの推進を図った。（辰巳雄大氏を起用した観光PRポスターの作成、「北勝富士関 感謝を伝える会」の開催、広報5月号特集記事への坂巻有紗氏の起用、所沢市民感謝デーへの坂巻有紗氏の出演）令和8年度も大山親方化粧まわし寄贈式等、観光大使にご協力いただき、事業を実施するとともに、所沢市の魅力を発信するための観光案内を作成し、効果的な観光客誘致プロモーションを推進する。

● 個性あふれる文化の創造

- ・市内外の音楽好きに訴求する「武蔵野MUSIC JAM」の開催支援を行い、ファミリー層からコアな音楽ファンまで、幅広い層の方楽しんでいただくことができた。
- ・まちなかで、ふとしたときに音楽を楽しむことができる「まちなかコンサート」をメインに、親子などで気軽にクラシック音楽に触れる機会を創出する「音まちファミリーコンサート」、小中学生のロック体験を後押しする「音まち青春ROCK」など、音楽的な嗜好や年代に関わらず、誰もが音楽を楽しめる環境づくりを行った。今後も「音楽のあるまちづくり」関連事業をはじめ、アートに関する事業なども含めて、市民が多様な文化芸術に触れる機会を創出し、文化の薫り高い施策を進めていく。
- ・市民文化センターミューズは、メンバーズ会員及び自主事業チケット収入が過去最高を更新するなど、芸術文化の振興に寄与した。本施設は開館から30年余りが経過し、老朽化が課題となっていることから、引き続き文化の殿堂としての機能を果たせるよう、利用者の安全や施設の安定的な運営に向けて適切な維持管理を進めていく。

● 文化財の調査・保存・活用

- ・歴史的建造物整備活用事業では、国登録有形文化財「秋田家住宅」及び敷地全体の整備を進めるために業務委託による「秋田家住宅」の基本設計を実施した。
- ・滝の城跡整備事業では、埼玉県史跡指定100周年記念「滝の城跡」発掘調査報告・講演会を開催し、これまで行った発掘調査の成果を報告し、滝の城跡の歴史的価値を知る機会とした。
- ・文化財公開活用事業では、国重要文化財「小野家住宅」や国登録有形文化財「秋田家住宅」などの公開により、市民が文化財に親しむ機会を設けるとともに、広報紙発行を通じて文化財調査成果の情報発信を進めた。
- ・今後については、先人たちの営みとともに長い年月受け継がれてきた歴史的財産である文化財や市域に伝わる民俗芸能の保存に努めるとともに、歴史的建造物など文化財を活用することにより、その魅力を発信することで歴史文化や郷土を大切にする心を育み、本市の歴史文化を未来へ継承していく。

● 生物多様性への理解と参加の推進

- ・生きものとみどり啓発事業では、令和7年11月に狭山丘陵の樹林地内を巡る「みどりのふれあいウォーク」を実施した。市内外から1,369人の参加があり、みどりに対する興味関心を深めながら、本市の魅力である豊かなみどりを広く周知することができた。今後もみどりへの理解と意識の向上を図るとともに、イベント内容の工夫や周知方法を拡充させることで参加者数の増加を図り、豊かなみどりの魅力を広く周知していく。

● みどりと水の保全

- ・みどりの基本計画推進事業では、みどりの審議会を2回開催し、専門的知識や知見を有する審議会委員から貴重な意見をいただきながら、みどりの基本計画及び生物多様性戦略に基づく施策や事業の進捗管理を行った。今後もみどりの審議会を開催し、計画等に基づいてみどりの保全・創出等を推進することで、本市の貴重なみどりの魅力の更なる向上を図っていく。
- ・里山保全地域等指定整備事業では、都市近郊に残された数少ない里山の原風景を保全するため、地域制緑地の指定範囲を0.33ha拡大し、市内に残された貴重なみどりを保全することができた。今後も未来のこどもたちに所沢の貴重なみどりを継承するため、各種法令等に基づき、保全する樹林地の土地利用を制限する地域制緑地の指定及び拡大を行い、貴重なみどりを保全することで所沢ブランドを高めていく。
- ・水田景観保全事業では、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田景観を保全するため、水田6筆について地権者と貸借契約を結び、地域団体との協働により耕作及び管理を実施した。今後も地域団体との協働で水田の耕作等を行うことで、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに豊かな里山の景観を保全していく。

● 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進

- ・所沢駅西口土地区画整理事業における保留地処分が全て完了したことから、令和8年度末をもって所沢駅西口土地区画整理特別会計を廃止する。
- ・所沢駅周辺のにぎわいの創出を図るため、歩行者が安心・安全に通行できる道路の整備や電線地中化を進めた。今後も道路整備や電線地中化を進め、所沢駅西口エミテラス所沢に集まる来街者を周辺地区へ回遊するよう促進する。
- ・所沢駅東西市街地の一体化や駅周辺の交通渋滞の緩和を目的とした「所沢駅ふれあい通り線」について、西武鉄道株式会社により鉄道敷地内の協定工事が行われた。早期開通を目指し整備を進める。
- ・東町の再開発事業で生み出されたファルマン通り交差点歩道空間について、引き続き中心市街地のにぎわいや魅力向上のため、社会実験やイベント等の会場として貸出しを予定していることから、適正に維持管理を実施する。

● 地域の総合力の向上

- ・ところざわサクラタウンで開催された武蔵野回廊文化祭と「所沢Mix カルチャーフェスタ」を併催し、三ヶ島菫子ゆかりの地である所沢を短歌でひも解くイベントとして開催し、所沢の文化や短歌の魅力を発信することができた。COOL JAPAN FOREST構想は令和7年度で「成果創出期」から「未来への飛翔期」へと移行していく時期であることから、更に市と（株）KADOKAWAとの連携を図っていく必要がある。また、地域の町内会や商店街、西武鉄道などの鉄道事業者をはじめとする市民や民間企業、団体との連携を更に深め、このエリアの活性化を進めていく必要がある。
- ・ダイアプラン推進事業においては、環境部会においては、脱炭素経営に悩むダイアプラン圏域を中心とした事業者とソリューションを持つ企業との交流を図る脱炭素経営ネットワーク交流会を開催し、延べ55団体以上、約120名が参加し企業間のネットワークの構築を図ることができた。また、観光部会においては、西武園ゆうえんち市民感謝デーをはじめとする様々なイベントにおいて、5市共同で圏域の観光PRを行った。その他の部会においても、施設の共同利用など、圏域の魅力向上につながる取組を行った。共通の行政課題について広域的な視点で解決策を検討することで、本市の魅力の向上につながっていくと考えられることから、今後もダイアプラン5市の連携を深めていく必要がある。
- ・eスポーツ啓発推進事業として、企業版ふるさと納税による寄附金を活用し、ところざわサクラタウン内のFAV ZONEにおいて、小中学生を対象としたグループ学習会や、エミテラス所沢のTOKOROZAWA e-CUBEにおいて、高校生を対象としたスポーツマンシップを学ぶイベントを開催し、eスポーツのもつ可能性について認識することができた。今後も地方創生、青少年の健全育成、デジタル人材育成、障害者の社会参加等の様々な分野において活用を検討していく。
- ・所沢市の魅力を広くPRするため、「所沢市PR動画」を作成し、ケーブルテレビやSNS等を通じて発信した。

【総評】

令和7年度においても、まちの活性化を目指し、「所沢の魅力を高めるまちづくり」のため様々な取り組みが実施された。

「ところざわまつり」や「市民フェスティバル」、「所沢シティマラソン大会」など長く市民に親しまれているイベントの開催に加え、「埼玉西武ライオンズ」、「さいたまブロンコス」との連携、本市の特産品である狭山茶をPRするための「2025 大阪・関西万博」出展など、所沢の魅力発信に一定の効果があったと考える。さらに令和7年度は、「航空発祥の地・所沢」のPRに向け「航空発祥祭」の初開催に向けた準備にも取り組んだところである。

また、「音楽のあるまちづくり」の推進や「武蔵野MUSIC JAM」の開催支援、「所沢市文化財保存活用地域計画」の準備など文化芸術や歴史的文化財を活用した取り組み、里山保全地域の指定拡大、所沢駅周辺のにぎわいの創出、(株)KADOKAWAとの連携など、豊かなみどりと文化の魅力を伝える「所沢ブランド」の魅力を一層楽しめる多様な取り組みが着実に進められ、訪れて楽しい空間づくりにより市内の魅力ある観光拠点、商店街などへの回遊性の質を高めることができた。

こうしたことから、「所沢の魅力を高めるまちづくり」の実現に向け、各事業の順調な進捗に加え、新たな取り組みもなされたことを評価するものである。また、今後は、令和8年度から実施するシティプロモーション推進事業の実施により、全庁的なプロモーション意識の向上を図るとともに、市民が市の魅力を発信・拡散していく仕組みを設けるなど、更なる取り組みを進めていく。

【SDG s への貢献】

- | | | | |
|---|--------------------|----|-------------------|
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを |
| 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさも守ろう |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公正をすべての人に |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | |